

Hand in Hand

進路を考える貴重な機会に

先日行われた「一日大学」では、それぞれが希望する講義を2つ受講しましたが、自身の興味関心を深めることができ、進路を考える貴重な機会になったのではないのでしょうか。



「地質学からひも解く「仙台の大地の歴史」」を受講して

○私たちの住んでいる地域や学校周辺が海の底だったり、火砕流に覆われていたり、今とは全く異なる過程を経て現在の地形ができあがったことを知り、とても驚いた。また、大きな山々が連なる奥羽山脈がかつて仙台より深い海の底からプレートによって押し出されたということを知り、とても興味深く、自然現象の不思議さを学んだ。(組)

「医薬品と元素」を受講して

○不斉合成や分子構造など、以前から興味を持っていた言葉がたくさん出てきて、有機化学という分野をもっと学んでみたいと感じました。講義の中にはわからないことも多かったけれど、私も勉強して有機合成などをやってみたいと思いました。(組)

○理科で学んだ元素について関連付けながら聞くことができた。身体の中に取り入れるものなので、安全性が重要だと思った。多くの薬は元素に関わりがあり、とても興味深いと思った。薬は多くの人の努力を得て今、安心して使えているのだと考えた。(組)

○新薬を開発するのに長い時間と大量のお金が使われているのが分かった。新型コロナウイルスの治療薬に使われるものは本当は別の目的で作られたもので、他にも違う目的で作られたものが違う病気の治療薬に使われるものがあるのが分かった。(組)

「人口転換と家族制度」を受講して

○出生率と死亡率の低下の原因は、社会制度や生活様式の変化に密接に関係していることが分かった。歴史をたどり、かつての社会制度について学ぶことで、現在にもつながる情報が得られるという点が予想外で、学ぶ分野の先入観にとらわれず、様々なことに興味を持つことで、自分の進路が広がるのだと思った。(組)

○私も家族の一員だが、今と昔では家族の役割、社会の制度が全く違うことが分かった。よって出生率が下がっていたり、社会全体に影響が出ていたりすると知った。日本の大きな問題の少子高齢化には歴史の流れとその背景が大きく関係していると知った。(組)

「在宅で看護するとは一病とともに地域で生活する人々を支える」を受講して

○今回の講義を通して、様々な看護への関わり方があることを学びました。また、介護サービスのひとつとして、全てを手伝うのではなく、高齢者の自立性を尊重して全てをやり過ぎないという自立支援があることを知りました。(組)

○在宅サービスの中で、訪問介護、訪問入浴、通所介護、訪問介護と別れていることを知った。在宅看護は、療養者の生活のみを考えていると思っていたが、療養者と家族の生活のサポートも考えていて、家族の生き方を尊重することを大切にしていることがわかった。(組)

「謎解きの経営学」を受講して

○ただ統計からデータの的に判断するだけでなく、心理や政治状況から複合的に考えるという視点がとても興味深かったです。私たちの生活に深く関わっている学問なんだと感じました。(組)

○酒井先生の講義をきいて、経営学はお金のことを考えるのではなく、会社、経営環境をよくするためにも、心理や社会など様々なことを考えなければならないということを知りました。この講義より、前よりも経営学を学びたいと強く思うようになりました。(組)

○経済学と経営学は、同じような学問だと考えていましたが、発表を聞いてみると、多数の異なる部分が存在した。また、経営＝お金という偏見を持っていたが、実際には、実践的学問であり、カオス。心理、政治、社会など多数の面を持っていることを聞き、とても興味を持った。経済と経営は、様々な面で結びついていることが深く分かった。 (組)

○10年後などの遠い未来を見据えて、経営をすることができる人が立派な経営者であることが分かった。1つのことにこだわって続けることも大切だが、新しいものを発見、チャレンジすることも大切である。文系だから理系は使わないと思いがちだが、数学のような論理立てて考えることが文系でも使えることが分かった。 (組)

○経済学と経営学の違いが始めは分からなかったが、それぞれの特徴を生かして組み合わせた方法で社会の研究をしていることが分かりました。過去の企業の経営などから読み解き、研究している点がとても面白く、新鮮な内容だったので、大学を選ぶときも視野に入れていこうかと思いました。 (組)

○具体的な調査で、コマツとCATの話があり、すごく面白かったです。大学調べのとき、具体的にどんなことをしているか分からなかったのですが、今日、そのような話を聞いて理解が深まりました。それを解決まで導くのはすごいし、難しいなと思いました。 (組)

「植物はすごい！地球上の生命を支える植物のはたらき」を受講して

○遺伝子組み換えに抵抗があったが、今はまだ少ないことに驚いた。また、農薬が使われているのに遺伝子組み換えには否定的な意見の矛盾さにはうなずけた。でも本当に人体に影響がないのか、自然に影響がないのかとか話してもらいたかった。農薬のいらぬ植物はそれ自体に他の物への影響は無いのか気になった。 (組)

○植物はどんな種類でもCO₂を吸収すると思っていたが、穀物とアマゾン熱帯雨林は吸収しないとわかり驚いた。また、輸入しているトウモロコシは3分の2が飼料用、そして、GM作物（遺伝子組み換え作物）は輸入の内、約92%も占めているとわかった。DNAを毎日食べているとわかり、とても驚いた。 (組)

「特許って何だろう？」を受講して

○特許を取得することでどのような利益が出るのかということは今まで理解していなかったため、非常に興味深かった。また、特許によってもたらされる利益を利用して、社会全体の技術の進歩を促しているということを知った。中でも特許審査の基準の話はしっかりと観点があることやひとつひとつ厳正に選ばれているということがわかり、より社会の発展のために大きな意味をなしているのだと思った。 (組)

「分子でロボットをつくる」を受講して

○DNAは人間だけではなく、ロボットや様々な「モノ」にも使用されることもあり、たったひとつの分子を集め、組み立てることで、自分の理想な形となって、現実で完成させることができるのだなあということを知りました。 (組)

研修旅行実行委員会発足

今年度3月に実施を予定している九州研修旅行に向けて、先日実行委員会が発足しました。早速研修旅行通信第1号も発行され、実行委員長の

さんと副実行委員長のさんが抱負を熱く述べていましたね。今後実行委員会では、皆さんからの意見をもとにスローガンや研修旅行のルール等を検討していきます。ご協力よろしく申し上げます。

